

# 一般質問通告書

受領日時 令和4年3月7日 午後1時00分

3番 氏名 松浦 真

質問項目	質問の要旨
1 五城目町子ども議会の開催に向けて	<p>(1) これまで五城目町で開催されてきた青年議会は、歴史的にどのような経緯をたどり、どのような成果を生み出してきたか。</p> <p>(2) 昨年12月10日に朝市ふれあい館で行われた「総合的な学習の時間発表会」の中で、五城目第一中学校の生徒による「少年議会」の提案があった。町民に開かれた町政や議会を考えていく上で、若者当事者からの意見は貴重である。この提案を実現するために、町はどのようなアイデアを持っているか。</p> <p>(3) 地域の課題解決に向けて、品川区、宇治市、倉吉市などの小中高校生が、自分たちで請願書・陳情書を提出するケースが増えてきている。また、議員の担い手不足は全国的な課題である。将来を見据え五城目小中の社会・公民・総合学習の時間に議会事務局やまちづくり課が関わり、民主主義を学ぶ授業を実践していけないか。 (具体的には小中学校でアンケートを募り、町の課題について生徒が議論を行い、その結果を陳情・請願にまとめていくなど 最短2コマあれば実施可能)</p>
2 除雪の現状と今後の見通しについて	<p>(1) 例年にない大雪となり、今年五城目町の除雪は大変だった。持続可能な除雪のあり方を検討するタイミングに入っている。今冬、豪雪の影響を受けた札幌市では、今後20年間に渡り除雪オペレーターが2056人(2017年)から1207人(2037年)と4割減少することが札幌市の推計値より明らかになっている。 五城目町の除雪オペレーターの人数の20年間の推移予測は、また、確保に向けた動きは、除雪は長年の経験値が重要となる。育成計画について町の今後20年間の方針や取り組みは。</p> <p>(2) 除雪は町民にとっても毎年数千万円の予算がかかる一大事業とも言える。そのため、効率化や事業の透明性の担保が重要である。毎夏に行われる除雪会議内での毎年のPDCAの状況を確認してもらうことが必要ではないか。そこで除雪会議の議事録を公開、またzoomなどを通じて町内会などの代表的な意見を反映することが望ましいのでは。</p> <p>(3) GPS以外に除雪に関するチェックはどのようにしてい</p>

	<p>るのか。除雪状況や除雪技術向上のためのドライブレコーダー導入の予定は。また、職員が除雪に向けてより効率的な予算運用を行うために他自治体の除雪事例を参考にしているなどのケースは存在しているか。</p> <p>(4) 秋田市ではいつ除雪車が来るのか WEB 上でリアルタイムに確認ができる。五城目町は除雪 GPS のオープンデータ化や位置情報の公開を行わないのか。</p> <p>(5) 雪を底から剥ぎ取る作業を行う際、マンホールとアスファルトの隙間に除雪車がひっかかり、除雪オペレーターが怪我をする事例があった。そのような危険な場所が大川地区だけで13ヶ所ある。様々なエリアで放置されているこれらの危険箇所は、予算がなく修繕箇所が多すぎるため優先順位をつけて行くと建設課から聞いたが、これらの改善がないと安心してオペレーターは業務を行うことができないのではないのか。</p> <p>実際の修繕必要箇所は何箇所あり、緊急度が高い箇所は何箇所あるか。また、その修繕費用は総額どれぐらいになるのか。</p> <p>(6) オペレーターの減少傾向とその作業の危険性、一方で今後も続く冬の雪災対策の重要性、人口減でより一層負担となっていく除雪予算、それぞれを比較対照した上で町としては今後どのような方針で除雪作業を行っていくのか。</p> <p><b>(追加質問)</b></p> <p>(7) 施政説明にあった、「さらなる改善」とは具体的に何をいつまでに想定しているか。</p>
<p>3 給食費補助について</p>	<p>(1) 令和3年9月～令和4年3月まで実施されている学校給食費支援金事業の成果は。</p> <p>他自治体では、給食費徴収に伴う未収金の督促業務が無くなることで、教員が授業準備などに時間を割くことができ想定以上に学校現場の評判が高いなどの事例もあるが本町では反応はあるか。</p> <p>今年度も実施するとした場合、給食費支援に向けての町の目標および課題は何か。</p> <p><b>(追加質問)</b></p> <p>(2) 学校給食支援事業や大学生等ふるさとからのエール給付金事業に向けての予算上程があったが、小中学生および大学生等の町への感謝メッセージなどを目に見える形で取得するのはどうか。もちろんすべての児童や世帯にメッセ</p>

	<p>ージを強制するものではないが、お金だけの給付だけではなく、それに伴う双方の感謝のやり取りがプロセスとして残ることが重要であると考えているが町の考えは。</p>
<p>(追加質問) 4 火葬場改修事業のエネルギー価格高騰にともなう影響について</p>	<p>(1) 昨年も火葬場改修事業は物価上昇の影響を受けて3、449万円の予算追加措置を行っている。WTI 先物価格が3月7日に1バレルあたり125ドルを超えて、昨年同期より約2倍近い上昇となっている。本委託事業の今後の見通しおよび、これらエネルギー価格の上昇が本町の事業にあたる影響を精査する必要があると考える。より影響を受けやすい事業およびそのコストの見通しは。</p>